

口永良部島

概況

火山性地震の発生回数が 160 回と多くなり（昨年(2002年)の月平均は 40 回）火山活動はやや活発な状態で推移しました。

地震・微動活動の状況

A型地震の回数は 102 回（1月：47 回）、B型地震は 58 回（1月：27 回）と増加しました（図 1～5）。また、振幅の小さな火山性微動を 3 回観測しました（1月：無し）。

上屋久町役場口永良部島出張所によると、新岳の噴煙活動等には、変化はありませんでした。（2002 年 12 月 22 日～2003 年 1 月 11 日は機器の故障のため欠測です。）

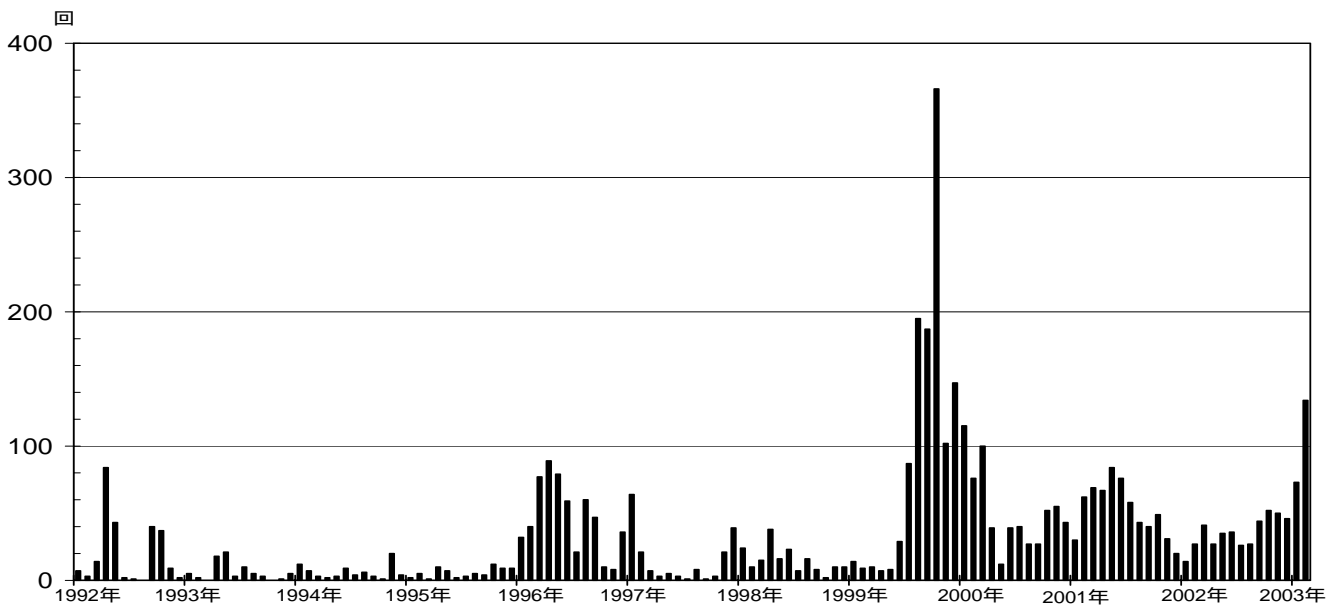


図1 火山性地震の月別地震回数（1992 年 1 月～2003 年 2 月）
（1999 年 9 月 12 日までは、京都大学が口永良部島観測点の地震計で計数したデータを利用）

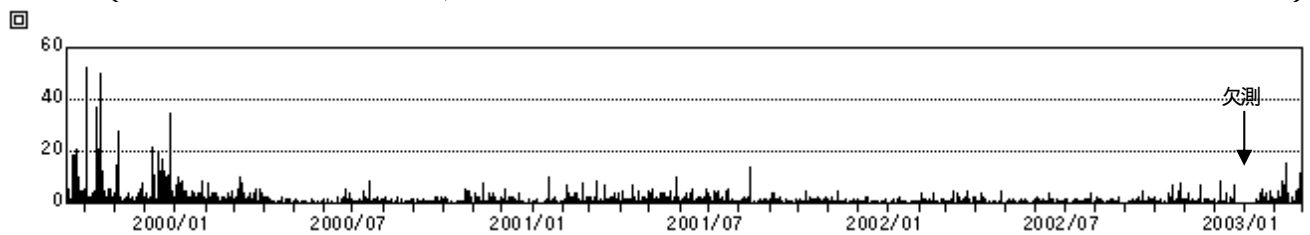


図2 A型地震の日別地震回数（1999 年 9 月 12 日～2003 年 2 月 28 日）

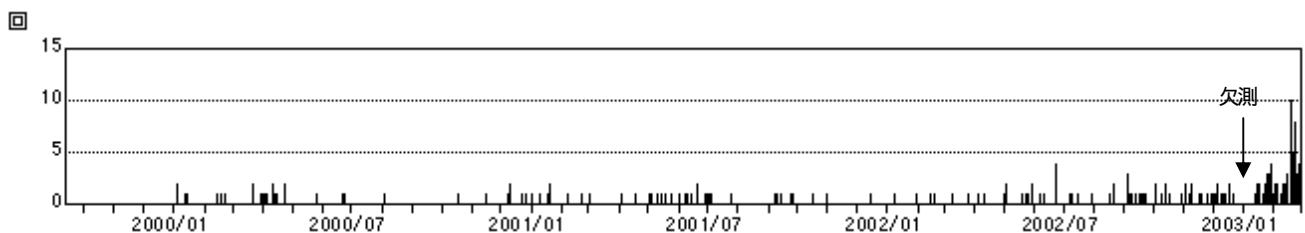


図3 B型地震の日別地震回数（1999 年 9 月 12 日～2003 年 2 月 28 日）

口永良部島

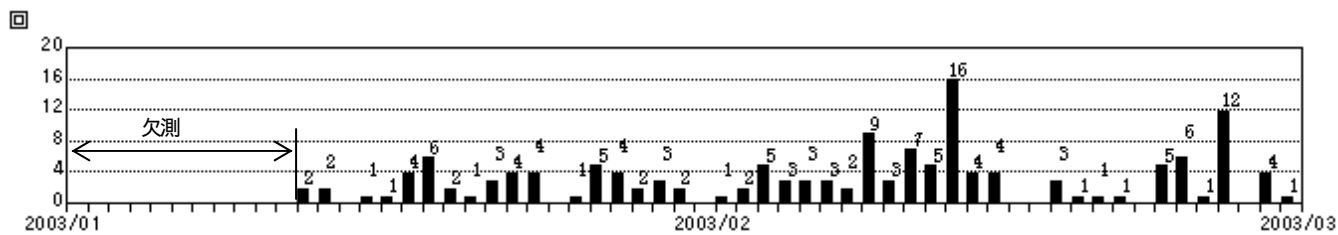


図4 A型地震の日別地震回数(2002年1月1日~2003年2月28日)

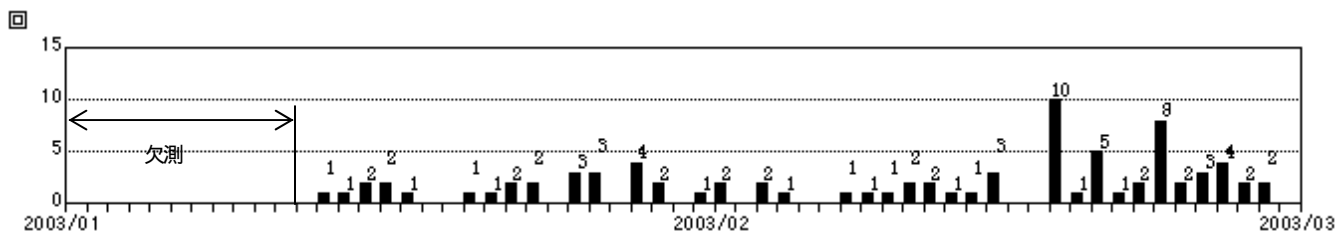


図5 B型地震の日別地震回数(2003年1月1日~2003年2月28日)

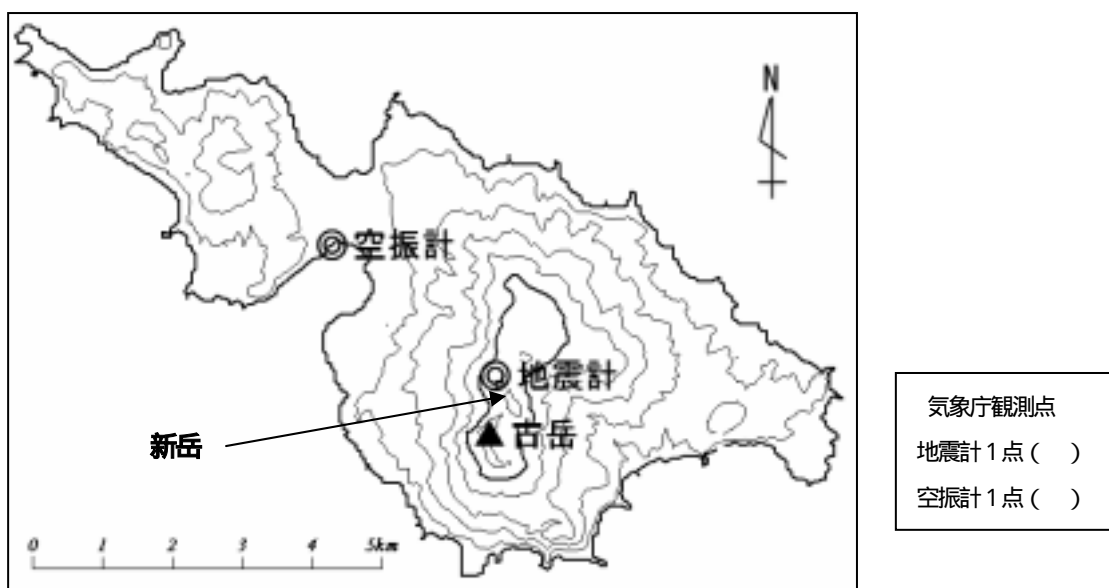


図6 観測点配置図